JRVA TOPICS



72

マナーを守って快適なくるま旅を! 日本RV協会では公共駐車場での「マナー10ヵ条」を設定しています

キャンピングカーはそのスタイリングか らどこにいても目立つクルマといえます。だ からこそマナーは人一倍守らなければなり ません。キャンピングカーユーザーの増加 に伴って、一部の心ないユーザーのマナー違

反がニュースにもなり、道の駅や公共の駐車 スペースから締め出されるという事態も発 生しています。日本RV協会では公共駐車場 でのマナー10ヵ条を設定して、キャンピン グカーユーザーにマナー厳守をお願いして

います。キャンピングカーを上手に使って 楽しいくるま旅をするためには、まずはマナ - を守ることが基本です。

マナーを守ってみんなで快適で楽しいく るま旅を!

1. 長期滞在を行わない

道の駅や高速道路のSA·PAなどは宿泊 施設ではないので、そこにおける休息は、必要最 小限の仮眠にとどめ、連泊・長期滞在を行わない ようにしましょう。また、キャンピングトレーラ - を公共の駐車場に放置して、むやみにヘッドの みで遠出をするようなことは避けましょう。

4. キャンプ行為は行わない

道の駅やSA・PAなどでは、たとえ短時間 の休息であっても、オーニングを広げたり、椅子・ - ブル・コンロなどを車外に持ち出して、キャ ンプ場のように利用することはやめましょう。ま た、周囲に配慮し、特に早朝・夜間の大きな話し声 や生活音に注意しましょう。

7. 許可なく公共の電源を使用しない

許可なく公共の電源にキャンピングカーを 接続し、その電源を利用することはやめましょう。

2. ゴミの不当投棄はしない

旅行中や移動中に発生した生活ゴミは、 ゴミ箱があっても投棄することはやめましょう。 また食器などは使い捨てのモノは避け、基本的に

生活排水用のグレータンクの処理も、そ

8. トイレ処理は控える

公共駐車場では、カセットトイレや ポータブルトイレの処理は控えましょう。

ゴミは持ち帰ることを心がけましょう。

5. グレータンクの排水は行わない

の場で垂れ流したり、側溝に流したりしないよう に心がけましょう。また、施設に許可なく給水す ることはやめましょう。

9. 車椅子マークの所に駐車しない

道の駅や高速道路のSA・PAにある車椅 子マークの駐車スペースには、健常者のみが乗車 している場合は駐車しないようにしましょう。

3. 発電機の使用には注意を払う

公共駐車場における発電機の使用は、時 と場合を十分に考慮し、他の利用客が休息してい る時や近所に民家があるような場所では、使用し ないようにしましょう。

6. オフ会の待ち合わせは慎重に

オフ会やクラブミーティングで公共駐車 場に集合する場合は、他の利用客から駐車場を占 拠して騒いでいると誤解されないように振る舞 いましょう。

10. 無駄なアイドリングをしない

無駄なアイドリングによる排気ガスの流 出や騒音は、大気汚染や地球温暖化にも悪影響を もたらすので、エンジンストップを心がけ、ECO ドライブを行いましょう。

震災支援 JRVA

災害時にも役立つキャンピングカーの特性を生かした復興支援活動を展開

日本RV協会では、キャンピングカーを使 って積極的に震災支援活動を展開していま す。東日本大震災の際には、災害に遭われた 方々に本当に必要な支援は継続的な支援で あることを痛感し、震災地域で活動するボ ランティアの方々にキャンピングカーを長 期間貸し出したり、無償で譲渡したりしま

今回の熊本地震においても支援を必要と するボランティア団体にキャンピングカー を提供するべく、会員事業者に貸与または 譲渡可能な車両を募集しました。そして地 元復興に尽力している「九州自然学校協議 会(RQ九州)」に譲渡可能な車両2台を贈呈

この「九州自然学校協議会(RQ九州)」は熊 本が本拠地であり、廃校を利用した自然学 校やフットパス、キャンプ場の管理団体で す。今回の熊本地震を機に"RQ(レスキュ 一)九州"を立ち上げ、自らが管理している 自然学校等を拠点としてボランティア団体 の管理受け皿になり、日々活動しています。

また、「一般社団法人やまと災害ボランテ ィアネットワーク」へもキャンピングトレ ーラーを貸し出しています。このキャンピ ングトレーラーは、東海大学の学生に、倒壊 した学生寮の代わりに一時的な宿舎として 利用してもらうほか、学生寮の復旧作業等 に協力しているボランティアの方々も使用 しています。

このように、日本RV協会は、災害時にも活 躍できるというキャンピングカーの特性を生 かして、東日本大震災や熊本地震において も、積極的に復興支援活動を展開しています。



D九州自然学校協議会 http://qshu-shizen.jp ●RQ九州 http://kyushu.rq-center.jp

気になるアンケート調査 キャンピングカーユーザーの旅行中の食事について



旅行先では飲食店で外食するケースが主流 ~旅行先で調達した食材で自炊を楽しむユーザーも~

日本RV協会では、日々キャンピングカーユーザーにさまざまな事象についてアンケート調査を行っています。 今回は、キャンピングカーユーザーが旅行先でどのような食事を楽しんでいるかを調査した結果を見てみることにしました。

キャンピングカーユーザーは基本的に外食派

この調査は、2016年2月18日から3月17日にかけ て、日本RV協会のホームページに寄せられた約220 人のユーザーアンケートを集計したものですが、キャ ンピングカー旅行中の食事について、まず「昼食」の場 合は、64.4%のユーザーが「旅先の飲食店を利用した 外食」と答えました。その次が、「旅先でお弁当等を購 入し、車内で食べる | (24.7%) というもので、食材を調 達して車内で調理するという回答は1桁にとどまる ものとなりました。(図表1)

【図表1】旅行中の「昼食」で最も多いケースは?



⋒ 旅牛の飲食店を利田 2 お弁当を購入し車内で食べる 24.7% 3 食材を調達して車内で調理 5.5% 4 予め用意した食材を車内で調理 3.2% 6 BBQなど車外で調理 2.3%

また「夕食」においても同様の傾向が見られ、トップ を飾った回答は、「旅先の飲食店、居酒屋を利用した外 食|というものであり、その比率は全体の半数に近い 46.4%に達しました。

ただ、夕食の場合は、車内で食事を摂る人たちの数は 昼食よりは増えて、「旅先で食材を調達して車内で調理 する というユーザーが19.4%、「お弁当を購入して車 内で食べる」という人が18.5%を数え、居住性に優れた キャンピングカーならではの過ごし方を楽しんでいる ユーザーが増える傾向が浮き彫りになりました。

また車外で夕食を楽しむ方法の一つとして、キャン プ場等を利用し、バーベキューのような煙の出る食事 を楽しんでいる人々が10.0%いることも判明しまし た。(図表2)

【図表2】旅行中の「夕食」で最も多いケースは?



● 旅先の飲食店・居酒屋を利用	46.4%
② 食材を調達して車内で調理	19.4%
❸ お弁当を購入し車内で食べる	18.5%
◆ BBQなど車外で調理	10.0%
6 予め用意した食材を車内で調理	5.7%

以上の回答は、基本的に1泊以上の重中泊を前提と した調査ですが、デイキャンプのような日帰り旅行の 場合も、だいたい似たような傾向であることがわかり ました。

キャンピングカーをデイキャンプ、日帰り温泉等で 使う場合も、やはり昼食の場合は外食が主流となり、 「目的地近くの飲食店を利用した外食」(59.5%)とい う回答が1位。2番手は「お弁当やファーストフードの テイクアウト (17.4%) となりました。(図表3)

【図表3】デイキャンプや日帰り旅行に行く場合の「昼食」

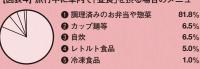


夕食は車内でゆっくり楽しむスタイルが人気

一方、車中泊を前提としたキャンピングカーの旅行 中に車内で食事を摂るときは、具体的にどのようなメ ニューが多いのでしょうか。これも、昼食と夕食に分 けて尋ねてみました。

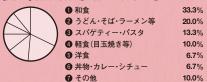
まず、昼食の場合は、「調理済みの総菜(含むお弁 当)」という回答が81.1%と圧倒的な回答率を占めて 1番目に上がりました。その他の回答としては、「カッ プ麺等」、「レトルト食品」等という回答も上がりまし たが、いずれも5~6%台の回答率にとどまりました。

【図表4】旅行中に車内で「昼食」を摂る場合のメニュー



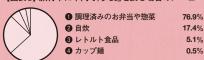
また「自炊」という答えも6.5%ほどの回答率を獲得 し、その具体的なメニューとして「和食」(33.3%)、「う どん・そば・ラーメン等」(20.0%)、「スパゲティー・パ スタ」(13.3%)、「目玉焼き、ハムエッグ等の軽食」 (10.0%)等という回答が並びました。(図表5)

【図表5】前問で「自炊」と答えた方の「昼食」メニューは?



それでは、車内で夕食を摂る場合はどうでしょうか。 ここでも、「調理済みの総菜」という答えが76.9%とい う圧倒的な回答率を占めて1位になりました。しか し、昼食のときとは異なり、2番目には「自炊」という回 答が17.4%を集めて浮上しています。(図表6)

【図表6】旅行中に車内で「夕食」を摂る場合のメニュー



ちなみに、自炊メニューとしては「和食」(34.9%)、 「目玉焼き・ハムエッグ等の軽食」(27.9%)、「洋食」 (16.3%)という回答が並び、昼食時よりは、時間をか けて本格的な調理を行うという傾向が読み取れます。 (図表7)

【図表7】前問で「自炊 |と答えた方の「夕食 |メニューは?



これは次の設問において、「キャンピングカー旅行 で車中泊する際に、夕食時においてはお酒を飲まれる ことがあるか?」という調査と関係しているかもしれ ません。

この設問では、57.8%のユーザーが「ほとんど酒を 飲む」と答えています。これに「飲むか飲まないかは 半々ぐらい」(9.3%)、「3回に2回程度の割合で飲む」 (5.4%)という回答を合わせると、全体の72.5%の人 が、車中泊する際には、車内でお酒を飲みながら夕食 を楽しんでいる状況が浮かんできました。(図表8) ※クルマを運転しないことが前提となっています。

【図表8】 車中泊の際に夕食時お洒を飲まれますか?



57.8%
9.3%
5.4%
9.3%
18.1%

また、本調査では、当協会が取り組んでいる「RVパ - ク」および「湯YOUパーク」等でレストラン・食堂が 併設されている場合の利用頻度も調べてみました。

それによると、「レストラン・食堂があれば、ほとん ど利用する」と答えた人は33.3%。以下、「比較的多く 利用する」(26.0%)、「半々ぐらい利用する」(16.7%) という回答が続き、合わせて76.0%のユーザーがRV パークや湯YOUパークの食事施設を利用しているこ とが分りました。(図表9)

【図表9】 RVパークもしくは湯YOUパークなど レストランや食堂が併設されている場合の利用頻度は?

●ほとんど利用する 2 比較的多く利用する ⋒ 半々ぐらいで利用する ▲ あまり利用しない

33.3% 26.0% 16.7% 10.4% 6 全く利用しない 13.5%

調査結果のまとめ

~キャンピングカーならではの多様な食事形態を 楽しむユーザーが急増中~

キャンピングカー旅行というと、かつてはキャンプ 場等に泊り、バーベキュー等の野外料理を楽しむとい うイメージが一般的だったかもしれません。しかし、 近年は旅行形態や旅の目的も多様化し、従来のキャン プ場泊に加え、RVパーク・湯YOUパークといったキャ ンピングカーならではの新しい宿泊施設も増え、それ に応じて旅行中の食事スタイルも大きく変化してき たことが今回の調査で浮かび上がりました。

具体的には、外食の比率が高まってきているところ に注目してよいでしょう。これは日本全国における ファミリーレストランやファーストフード店等の普 及、キャンピンカーユーザーに人気の食堂等を併設し た立ち寄り湯の普及、そのほか一般の道の駅、高速道 路のSA・PA等、外食を楽しめる場所の質的・量的拡大 が、その背景にあると考えてよいでしょう。

また、外食に依存する率が非常に高くなってきた一 方、旅行先で仕入れた食材や惣菜を調理して車内で食 事を摂るケースもしっかりレポートされています。

やはり、キャンピングカーの強みは、普通乗用車に はないキッチン機能を有していることです。たとえ 簡易的なコンロ(時には電子レンジ)や水道であった としても、買ってきた惣菜に車内で手を加えることは 乗用車よりもはるかに容易であることはいうまでも ありません。このようなキャンピングカーならでは のキッチン機能を利用し、広いテーブルや座りやすい シートを使って、ゆっくりくつろいで夕食を摂るとい うユーザーも多いようです。

外食から、本格的な車内調理まで。グルメブームを 念頭に置きながら、さまざまな食事形態を楽しめると ころにキャンピングカーの魅力があるといえるでし よう。

【調査概要】■ 調査地域:全国 ■ 調査対象:日本RV協会ホームページ閲覧者 ■ 調査手法:Webアンケート ■ 調査時期:2016年2月18日~2016年3月17日

道の駅がどこにあるか すぐわかる 日本全国ロードマップ

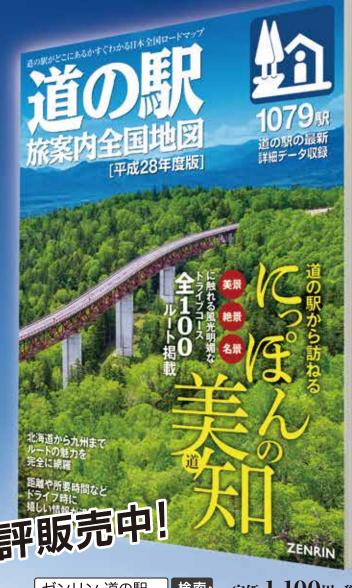
於案內全国地贸

[平成28年度版]

全国1079カ所の「道の駅」と、その周辺の観光・娯楽施設 などドライブやツーリングに役立つ情報が盛りだくさん。 平成28年度版は、美しい風景に出会えるコースを紹介。



インターネット「zenrin store」または お近くの書店・道の駅にて 好評販売中!



検索 定価 1,100円+税

平成29年度版 2017年3月上旬発売予定!

-ドマップ付きフリーマガジン

北海道・北陸・関東・中部・近畿・中国・四国・九州の道の駅で 絶賛配布中のフリーマガジンです。 各エリアのロードマップと 道の駅情報に加え、季節のイベントや観光情報をご紹介。

全国に広がるフリーマガジン「道の駅」旅案内にご期待ください。

※年1~4回発行(エリアによって異なります)

